

2005年度「運動器の10年」活動概要

「成長期スポーツ外傷予防」

- ・診療現場やスポーツの現場、家庭でのスポーツ、といった様々な現場においての医学的関わりについての講演。
- ・講師の派遣事業
中学校・高等学校関係の体育団体要請から、主に指導者を対象に講習会を開くための講師の派遣を推進、及び派遣を助成。スポーツにおける様々な外傷事例に基づき、対処方法や治療方法を教授。
- ・派遣講師はコンディショニング指導者並び、スポーツ整形外科を「一般財団法人 運動器の10年 日本協会」より適任者を選考し派遣。

「運動器検診体制の整備並び充実モデル事業(学校における)」

2005年を初年度とし、各学校における定期健康診断において、運動器の検診も可能とするためのモデルケースになるよう研究。これらの研究に関しては、北海道・京都府・島根県・徳島県の計4地域で実施。今後の成果に期待している。

「地域推進委員会の立ち上げ」

「運動器の10年」を各地域(都道府県)において推進させるため、今後の実践的な活動を目指し、運動器の10年地域推進委員会を立ち上げ。

各都道府県において上記項目をテーマに講演会を実施。

「運動器検診体制の整備並び充実モデル事業」はその後も引き続き研究。対象地域を拡大させる。

また例年同様「健康相談受付」も実施。

【その他】

「大人も知らないからだの本」発刊

「ご存じですか？運動器」(教育啓発冊子)発刊

DVD制作